

経営比較分析表（令和6年度決算）

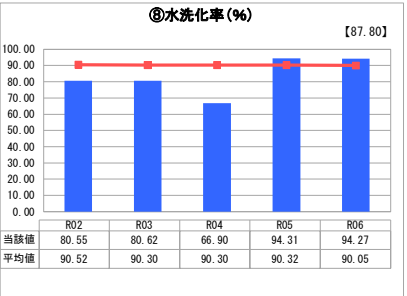
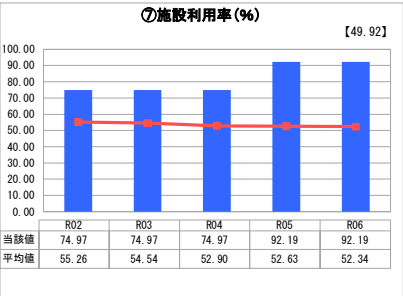
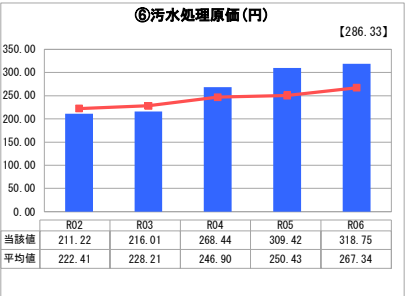
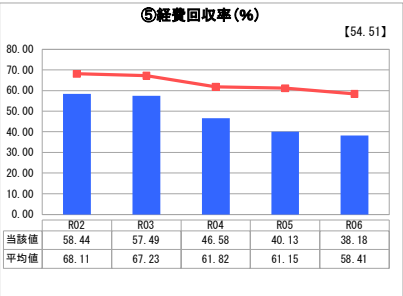
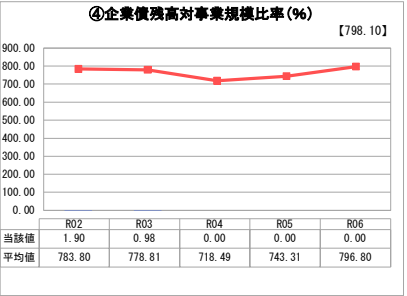
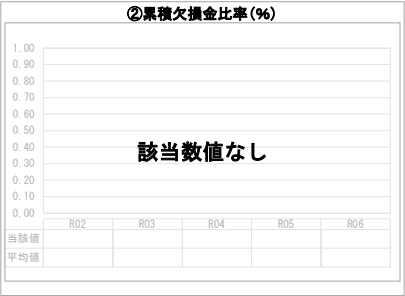
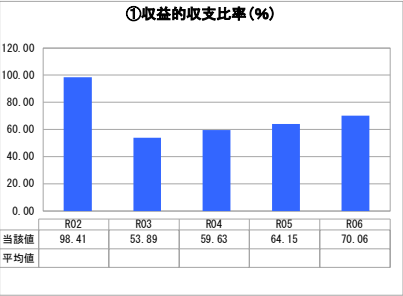
群馬県 高崎市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ¹ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	0.73	82.13	2,173

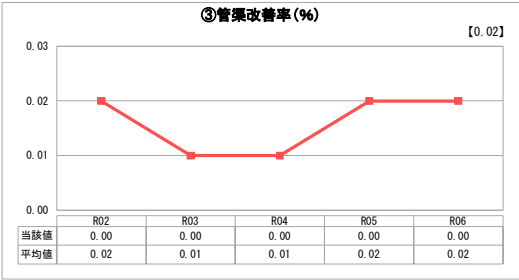
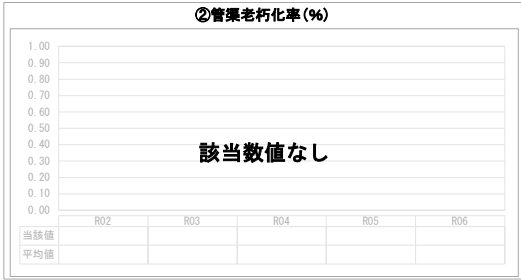
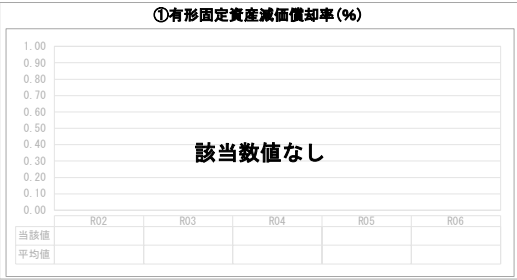
人口（人）	面積（km ² ）	人口密度（人/km ² ）
365,972	459.16	797.05
処理区域内人口（人）	処理区域面積（km ² ）	処理区域内人口密度（人/km ² ）
2,670	1.93	1,383.42

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率について、総収益が減少したものの、総費用の経費削減や償還金の減少幅も大きかったため、微増となった。
企業債残高対事業規模比率は、地方債残高の全てを一般会計で負担しているため、0となっている。
経費回収率は使用料収入の減少により減少となった。
汚水処理原価について、前年度と比べ年間有収水量の減少幅が維持費の減を上回ったため、増加となった。
施設利用率は平均値を大きく上回っている。これは施設を利用している大部分が一般住宅であり、店舗のように時期や時間帯で利用率が大きく変動しないためである。
水洗化率は市全体の接続率改善により、平均値をやや上回っている。

2. 老朽化の状況について

施設の供用開始から20年以上経過し、老朽化が著しく修繕の検討は常に必要である。各施設の管渠については、平成30年度に富岡地区の管渠の劣化状況も調査し、令和元年から4年度にその調査に基づき、管渠の補修工事を行った。また、楽間行力地区についても令和4年度から管渠の補修工事を行っている。令和5年度からは管渠内カメラ調査を実施し、今後も継続的に管渠内の劣化状況を把握していくこととした。他の地区も同様に、計画的に調査及び補修工事を実施していく。なお、内面補修は更新でなく修繕工事のため、管渠改善率には計上されない。

全体総括

収益的収支比率を高めるためには使用料収入の増加と経費の削減を図る必要がある。人口減少が予測される中、特に箕郷地区の新規接続者の増加及び未接続者の接続に努め、接続率の向上に向け継続的に広報活動等をおこなうことで、改善が見込める。経費削減についても、住民サービスに支障をきたさないことに配慮しつつ取り組む。
各施設の管渠については、調査済みの管渠から老朽化に伴う不明水が確認されており、緊急度合いにより順次補修工事を実施する必要がある。今後は、国庫補助金等を活用し、計画的・効率的に各施設の調査及び補修を行い施設の長寿命化に努める。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。